

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 557

事務事業名	参議院議員選挙執行事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	選挙管理委員会事務局		
課名	選挙管理委員会事務局		
課長名	渕 哲洋	内線	340
担当者名	末長 朋子	内線	341

基本目標	-
政策	999999 -
施策	その他
関連施策	

会計	一般会計		
款	2	総務費	
項	4	選挙費	
目	3	参議院議員選挙費	
事業コード	020000	参議院議員選挙執行事業	

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	有権者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	公正かつ円滑な選挙を実施し投票率の向上を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内30投票所での投票事務とシーハットでの開票事務を執行管理する。 平成28年度から、新たに市内2カ所(郡地区公民館、イオン大村ショッピングセンター)に期日前投票所を設置し、有権者の利便性の向上を図る。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	公職選挙法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 有権者数	計画値	72,670			74,025	
		実績値	72,707				
		達成度	100.1%				
活動指標	② 期日前投票所数	計画値				3	H28新規設定
		実績値					
		達成度					
成果指標	① 投票率	計画値	62.9			54.5	
		実績値	54.5				
	達成度	86.6%			0.0%		
	② 投票者総数に占める期日前投票者数	計画値				43,419	
実績値							
	達成度				0.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	24,610	0	0	27,924	0	0	0	0
国庫支出金								
県支出金	24,610			27,924		0		
地方債								
その他								
一般財源								
② 人件費(千円)	9,456	0	0	12,787	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.05			1.65				
時間外勤務(時間)	556			394				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	34,066	0	0	40,711				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	法改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて初めて実施された選挙であったが、選挙システムの改修及び対応に万全を期すことで、投開票事務を円滑かつ迅速に行い、選挙事務を適正に執行することができた。 また、期日前投票所を増設することで、有権者の利便性の向上を図ることができた。 (前回選挙 平成28年7月10日執行済) (次回選挙 平成31年7月執行予定)
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし	

作業の効率化及び人件費の削減を図るために、経費の削減に努めている。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	選挙システムを活用して、選挙事務を適正に執行する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	投開票事務の円滑かつ迅速化が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。